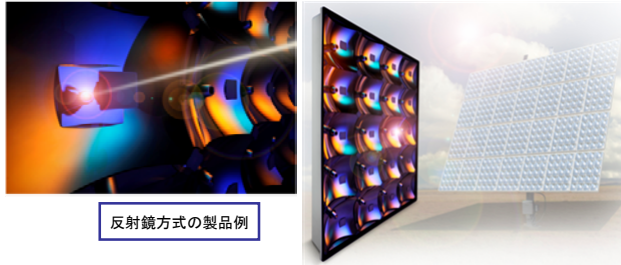


# 新規事業の早期立ち上げ

## 太陽光発電の事業化(太陽光発電用ガラス集光レンズ・反射鏡)

近年、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を排出しないクリーンなエネルギーとして世界的規模で市場が拡大している太陽光発電において、現在、市場の主流である結晶系以外に薄膜系、集光型のシステムが大きな注目を集めている。  
特に当社が開発している集光型は、最も「コスト/kWh(発電量対総コスト)」が低く費用対効果の高い方式である。

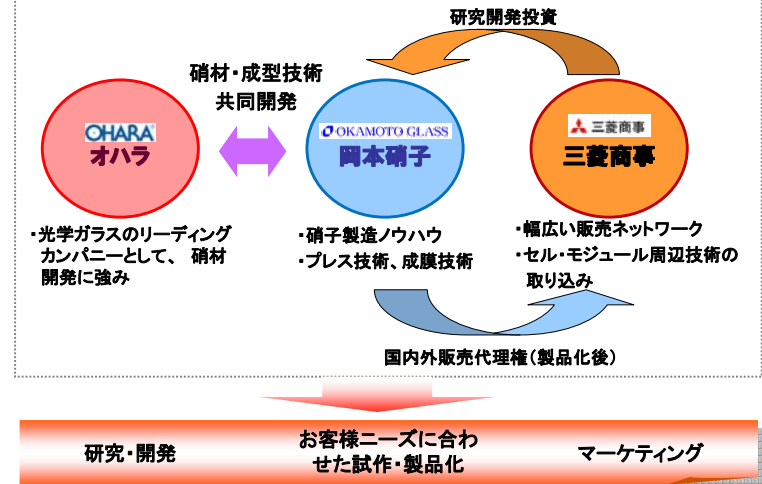
- 反射鏡方式の製品は、2009年秋 量産開始予定
- レンズ方式の製品は、最終試作品の評価中



反射鏡方式の製品例

# 新規事業の早期立ち上げ

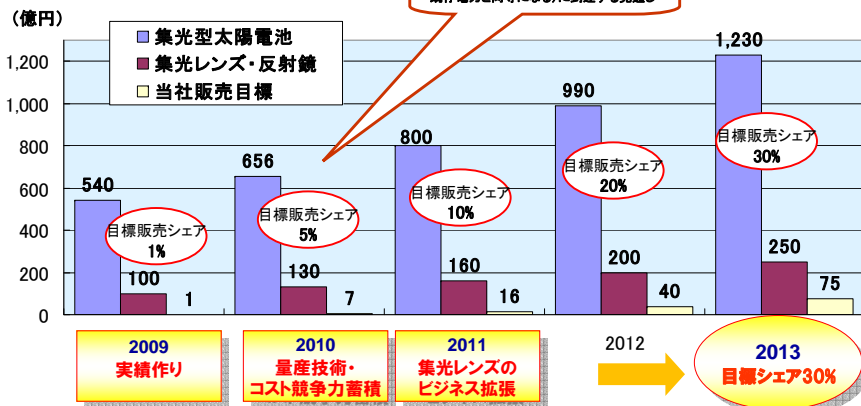
## 太陽光発電用ガラス集光レンズ・反射鏡の開発コラボレーション



# 新規事業の早期立ち上げ

## 太陽光発電の事業化(太陽光発電用ガラス集光レンズ・反射鏡)

### 集光型太陽電池市場規模



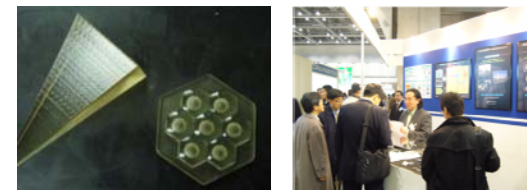
各種資料をもとに岡本硝子推定

# 新規事業の早期立ち上げ

## 太陽光発電の事業化(太陽光発電用ガラス集光レンズ・反射鏡)

### PV EXPO 2009(国際太陽電池展) 出展

800名以上が、当社ブースへ来場。  
耐熱性、耐候性に優れたガラス製集光レンズを熱望している。



具体的引き合いが多く、  
現行方式に次ぐ新製品の開発を進める。